

第一期

No.	選定した団体名	申請事業の名称及び概要		選定された事業の助成額の総額及び内訳			
		名称	概要	助成確定額総額	内訳(直接事業費)	内訳(管理的経費)	内訳(雇用関連費)
1	特定非営利活動法人学生人材バンク	ICTによる若者の就労機会構築 YELLFOR 在宅アシスタント育成事業	IT・デジタルや広報業務に関する就労トレーニングを受けた参加者が、地域内外企業から受注した実業務を在宅で推進することで、若者の仕事を通じた自立と企業振興を実現する。	¥11,988,200	¥5,400,160	¥1,772,040	¥4,816,000
2	一般社団法人ステップフォワード	プラスステップ アフターコロナに再起をかける	「地域の課題を集めてそれを解消していく事を自立に向けたワークにする」という弊法人のノウハウを活かして若者の自立と地域課題解決を両立させます。 ①地域カフェ、助け合い掲示板、子ども食堂の運営や手伝いを通して就労準備性を醸成します。 ②地域カフェに集められた地域の困り事に対し、職員・同僚・地域関係者と一緒に検討しながら課題解決を図る事を通して就労準備性の醸成と職業適性の確認を行います。	¥11,999,716	¥4,985,760	¥2,100,100	¥4,913,856
3	特定非営利活動法人WELgee	難民申請者による企業のグローバル化推進	新型コロナウィルス感染症拡大による収入減少した国内難民申請者に対し、【キャリア伴走 → マッチング → お試し雇用(インターンシップ) → 定着フォロー → 社員登用 → 在留資格変更】のステップで就労伴走支援を実施すると同時に、国内企業のグローバル化促進に寄与する。	¥10,000,000	¥2,539,000	¥1,125,000	¥6,336,000
4	特定非営利活動法人全国福祉理美容師養成協会	美容+食で高齢者や障害者を支える専門人材 アビアランスサポートセンターと喫下カフェ	コロナの影響で、時短営業や売上減少を余儀なくされている対面接触型のサービス業(在宅ワークが困難な職種)である美容室やネイルサロン、エステサロン等、また飲食店の従事者など技術や接客のスキルが未熟な若手人材に対して、訪問理美容、アビアランスサポート(がん患者の外見支援)喫下専門カフェの先駆者として専門研修を提供し、コロナ禍における医療介護現場の新しいニーズに対応できる人材へと育成する。	¥24,998,240	¥11,484,740	¥864,000	¥12,649,500
5	特定非営利活動法人なんとかなる	山林を舞台に就労と生活の安定を支援する	「少年院・刑務所を出院、もしくは児童養護施設等を退所した仕事と帰住先のない若者たちと当該の山村地域で求職中のの方々(以後、対象者)」を対象に、林業を核に山間部地域の環境を利用した心のケアと就労体験を通じ、就労に対する意欲を引き出し、就労と生活の安定に向かう意欲の喚起とその状況の確立に向けた支援を行う。	¥10,000,000	¥3,810,000	¥1,313,200	¥4,876,800
6	ディースタンドード株式会社	官民クラウド事業	新型コロナウィルスの影響によりIT企業への就業が困難な若者向けに、ITインフラのエンジニアになるために必須であるLinuxの操作を学ぶ資格取得と、実務経験に直結する自社WEBサービスの運用業務を用意しています。この事業に参加頂いた若者はIT企業に就職するために非常に有効なスキルを身につけることができます。	¥11,740,170	¥2,071,500	¥2,264,670	¥7,404,000
7	特定非営利活動法人みらいず2	コロナ禍のソーシャルプロジェクト実施支援 大学生の力を社会課題解決の力に	コロナ禍のソーシャルビジネスやソーシャルアクション・プロジェクトが必要となり、コロナ禍でアルバイトの収入や活動が減少した大学生の力を掛け合わせて、社会課題解決の実践を進める。	¥15,000,000	¥7,831,200	¥960,000	¥6,208,800
8	一般社団法人グラミン日本	若年シングルマザーのデジタル就労支援 子育てを両立する新たな働き方	CFW2020で実施した若年シングルマザーへのデジタル就労支援をスケールアップし全国規模で展開。具体的には①5人グループを組成し、ワークショップを通じたマインドセットの育成を目指すグラミン式の起業・就労支援②当団体の職員として従事、デジタルスキル獲得のトレーニングおよび習得スキルを活かした実践の提供③雇用受入れ企業向けのワークショップや、提携企業でのインターンシップの実施	¥12,000,000	¥5,400,000	¥1,800,000	¥4,800,000

※選定過程: 実行団体は公募の実施概要と外部審査員による審査の実施により選定いたしました。

※算定根拠: 助成額は実行団体よりご提出いただいた事業計画書・資金計画書に基づき算定しています。

第二期

No.	選定した団体名	申請事業の名称及び概要		選定された事業の助成額の総額及び内訳			
		名称	概要	助成確定額総額	内訳(直接事業費)	内訳(管理的経費)	内訳(雇用関連費)
9	特定非営利活動法人北海道エンブリッジ	都市規模別広域就労モデル構築事業	「誰もが志と誇りをもって挑戦できる社会をつくる」をビジョンに掲げ、北海道の高校生・大学生を対象に実践型インターンシップや、自身の関心を社会に向けて試す創業支援プログラムを通じ「実践」と「対話」の機会づくりを実施。若者が自身の理想のキャリアに向けて「自信」と「スキル」を身に着ける環境づくりや、そうした若者を持続的に育むための"地域コミュニティー"が持つ教育力を高めることを目的に活動している。	¥15,000,000	¥6,422,000	¥2,530,000	¥6,048,000
10	特定非営利活動法人どりいむスイッチ	コロナ後を生きるためのDX化人材育成事業	新型コロナウイルス感染拡大により、失業や収入減に陥っている若年層を雇用し、DX化を推進する人材になれるよう座学と実践を組み合わせたスキル習得プログラムを実施する事業。実践においては、DX化へのハードルを感じている企業や団体から、DX化で対応できる業務の切り出しを行った上で業務委託として作業を請負い、テレワークにて実施する。	¥11,914,152	¥4,889,112	¥2,115,840	¥4,909,200
11	認定特定非営利活動法人キドックス	困窮を抱える若者×地域ペットサービス事業	コロナ禍で収入が減ったり仕事を失ったりした非正規労働の不安定な雇用状態の若者に対してペットサービスの知識や技術の研修を行い、高齢者飼い主がペットと適切に過ごせるための出張サポートサービスを行います。若者が自分らしく働ける環境作りに加えて、コロナ禍で増えたペット需要の中で社会問題となっている高齢者の孤立問題やペット・遺棄問題にも対応し、人も動物も孤立しない社会を目指します。	¥13,890,000	¥6,888,000	¥1,445,040	¥5,556,960
12	特定非営利活動法人G-net	コロナ禍の若者就労支援、就労機会拡大事業	継続するコロナ禍において学習環境、経済状況に影響を受ける若者が、制約下であっても就労可能な仕事機会の提供を通じた、若者の学び・成長機会の支援及び地域におけるリモートワーク等の多様な就労土壤の開発に取り組む。また、事業を通じて蓄積したノウハウを多地域に展開し、全国各地に多様な就労選択肢を広げ、若者支援と地域企業の人手不足解消、若者の力を活かした地域課題解決の推進へと繋げていく。	¥21,460,220	¥10,691,020	¥1,405,200	¥9,364,000

※選定過程: 実行団体は公募の実施概要と外部審査員による審査の実施により選定いたしました。

※算定根拠: 助成額は実行団体よりご提出いただいた事業計画書・資金計画書に基づき算定しています。